

「奇跡のピアノ」を奏でる小林氏と、(奥左から)見守る遠藤洋氏、瀬谷貢一会長、比佐努副会長。



いわきに響く「奇跡のピアノ」の音色。市民と協働で、まちを再生。

非営利組織「ap bank」代表として、東北の震災復興支援に携わる音楽プロデューサー小林武史氏。今回足を運んだ復興現場はいわき市。津波に飲まれ、その後見事に修復された「奇跡のピアノ」を訪ねた。



海辺の中学校体育館で被災した1台のピアノ

晴天のもと、塩屋埼灯台は白く輝いていた。美空ひばりの「みだれ髪」にも歌われた地だ。灯台に上った小林武史氏は「いいところですね。素直にそう思うなあ」とつぶやく。太平洋に面した海辺は冬も暖かい。震災前、岬の北側の薄磯には海水浴客が年間26万人も訪れ、南側の豊間中学校の校舎が残っている。「奇跡のピアノ」は、この学校の、すでに解体された体育館にあったものだ。

しかし、住宅や民宿、かまぼこ加工工場などがひしめいていたまちは、震災時、8.5mの津波に襲われた。今は低地の建物は撤去され、再生に向けての工事が進む。ほぼ更地になった薄磯地区には、豊間中学校の校舎が残っている。「奇跡のピアノ」は、この学校の、すでに解体された体育館にあったものだ。

「ああ、あの場所で…」と小林氏。

音楽家である小林氏にとって、楽器が災害で壊れるのは非常に辛いことだ。

「震災では各地で数多くの楽器が被災しました。人間がハーモニーを奏でるためのものが、激しい音とともに壊れていった。痛ましい思いでした」

体育館での卒業式の日の午後に被災したピアノは、弦も切れて傷だらけになり、海水と泥にまみれて舞台袖にひっかかっていたそうだ。それを無償で修理したが、市内で「ピアノショップいわき」を営む調律師の遠藤洋氏である。

半年をかけた再生後、紅白歌合戦をはじめ各地で演奏されてきたピアノは、訪れた日、遠藤氏のショップに戻っていた。

塩水に浸り錆びた後 1人の調律師の手で再生

調律や修理などの技術力で知られてきた「ピアノショップいわき」。遠藤氏は震

災の2カ月後に体育館のピアノを見に行き、寄贈者の名を目にした。「人の思いがこもったピアノでした」と遠藤氏。

「ひどい状態でした。周囲にも無理と言われましたが、それなら自分がやってみよう」と体育館解体前の昨年9月には、行政とともに被災地域のまちづくりを検討する



小林武史 こばやし たけし
1959年山形県生まれ。サザンオールスターズ、Mr.Children など多くのアーティストを手がける日本屈指の音楽プロデューサー。2003年櫻井和寿らとともに非営利組織「ap bank」を設立。2016年には石巻で地方型芸術祭の開催を予定。

URの復興支援・いわき

復興への取り組みが進む 沿岸の薄磯・豊間地区

いわき市は被災市街地の復興など、多岐にわたる復興事業を迅速に進めるため、UR都市機構に復興土地区画整理事業への協力を要請。URが昨年度から工事を行っている。両地区では、高台を新たな住宅用地として整備していく中で、切り出した土砂を再活用して、海側に幅50m、高さ10.2mの防災緑地を作る計画である。県道を間に置いた防潮堤は旧来より2m高くした7.2mにする。防災緑地、防潮堤とも、薄磯の北にある沼ノ内地区を含め、予定される長さは5kmに及ぶ。

憩いの場を兼ねる防災緑地に地域の植生を継承するため、どんぐりの実やハマナスなどを育てる「どんぐりプロジェクト」が市民と行政、URの協働で行われている。

豊間地区では「ふる



地元里山のDNAを継承する「どんぐりプロジェクト」も進行中。

「海まち・とよま市民会議」の呼びかけで、卒業生ら約200人が集まり、このピアノの伴奏で校歌を歌った。

楽器がもたらす感動は心の風景を甦らせる

鍵盤に置いた小林氏の両手が音を奏でる。かつて自身が作曲を手がけた映画『リリイ・シュシュのすべて』からのワンフレーズ。美しく響き渡るメロディは、海をイメージして作られたものだ。

「豊かな、芯の強い音がします。弾いていて楽しいですね」



修復当時の様子。泥を洗っては乾かし…、遠藤氏は約半年がかりで丹念にピアノを再生していった。



左上 / いわきのシンボル、塩屋埼灯台。左下 / 地区の復興に尽力する豊間地区の遠藤守俊区長(左)と、URいわき復興支援事務所の佐藤秀城所長。上 / 復興の進む薄磯地区。中央に見える建物が「奇跡のピアノ」があった豊間中学校。

さと豊間復興協議会」の尽力で、災害公営住宅入居に併せ、鮮魚店など4軒からなる仮設商店街「とよマルシェ」がオープンした。いずれは復興したまちに移転する予定だ。遠藤守俊区長の「コミュニティ再生への第一歩です」との言葉に、「新しいまちを地元の人々の手で作り直すプロセスですね」と小林氏。平成27年度中の宅地整備完了へ向けて、地域の期待も高まる。

ap bankの活動

福島でライブイベントを開催

東北の被災各地で復興支援活動を行っているap bank。福島県では昨年6月22日、川内村立川内小学校体育館で映画『家路』の上映と、その主題歌を始め、小林氏の曲を歌手のSalyuが歌うライブを開催。村外に避難している人を含め、約300人もの人々が集まり、一日を楽しんだ。



街に、ルネッサンス

UR **UR都市機構**

一日も早い東北の復興へ 全力で取り組んでいます
http://www.ur-net.go.jp/saigai/